

# 水芭蕉



本校の教育目標 「自ら学び 夢と希望をもって 進んで行動する子ども」

今年度の重点目標 「Challenge & Communication 2つの“C”で未来を拓け 芭露 KIDS」

## 更なる『Challenge & Communication』の — 前期学校評価を終えて — 充実に向けて

例年、前・後期の2回行っている学校評価について、前期の集計ならびに分析・考察結果がまとまりましたので、お知らせいたします。毎回、保護者のみなさまからは高い回収率となっており、ご協力に感謝するとともに、本校に対する期待の大きさと責任を実感しております。

学校評価は、現在行っている諸活動について生徒・保護者・職員の三者から評価を行い、成果と課題を把握し、今後の学校経営へ反映させていくことを目的に行っています。これは、私たち教職員が、活動の一環として、子どもたちに自身の活動を振り返ってもらうとともに、学級担任や他の教職員ら他の視点も加えて反省やまとめを行い、次に生かしていくことと同様です。「本校の実践の良いところは何か」「今後、より発展させるべきところは何か」「修正などを行うべきところは!?!」「子どもたちの思いは!?!」「保護者のみなさまが気にしているところは何だろう」など、たくさんの視点をもって見ていきたいと考えています。以下、評価結果とその分析と考察、今後の活動についてお知らせします。

何事もそうですが、一朝一夕にして劇的に変化するということは滅多にありません。何といっても日々の活動の積み上げが大切です。みなさまからのアンケートでの数値や記述意見を“本校に対するエール”と捉え、学校評価を生かし、今年度の重点目標『Challenge & Communication 2つの“C”で未来を拓け 芭露 KIDS』の達成に向け、全職員一丸となって邁進していきます。今後ともみなさまからの温かいご支援・ご協力を頂ければ幸いです。

(湧別町立芭露学園 校長 川上 智広)

### 【前期学校評価について】

段階と その意味	4	3	2	1
	十分できている とてもそう思う	できている そう思う	あまりできていない あまり思わない	全くできていない 全く思わない
留意事項	○各項目3.2ポイント(達成率 80%)以上を「達成している」の基準とする。 ○表中の「前回」は令和5年度後期(令和5年12月調査)の調査結果。 ○表中の赤字は基準である3.2ポイントを下回ったもの。 ○表中の青字は前回と今回に0.4ポイント(10%)以上の差が生じたもの。			



令和6年度

湧別町立芭露学園の重点目標

Challenge & Communication  
(チャレンジ アンド コミュニケーション)

2つの“C”で未来を拓け 芭露KIDS

## (1) 学校生活 【結果】

評価観点			1～6年		7～9年		保護者		教職員		CS委員・自治会長	
	No	項目	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回
学校生活	1	楽しい学校生活	3.7	3.9	3.9↑	3.5					3.8	3.7
	2	自分からあいさつ	3.5	3.2	3.4	3.5	3.2	3.3			3.6↓	4.0
	3	良好な友人関係	3.9	3.9	3.9	3.7	3.4	3.3	3.5	3.6		
	4	1～9年生の繋がりに関わり合い	3.5	3.6	3.9↑	2.9	3.5	3.3	3.3	3.2		
	5	体力の向上	3.9	3.8	4.0↑	2.8	2.8↓	3.2	3.5	3.3		
	6	部活動(後期課程のみ)			3.8↑	3.3			3.6	3.4		

### 【考察】

- ① 7～9年生の『楽しい学校生活』『1～9年生の繋がりに関わり合い』のポイントが大きく増えています。コロナ禍以降、ようやく本校の特徴である「前期課程・後期課程・何らかの形で全校児童生徒が関わる活動」の3つが充実してきたことと、各取り組みを7～9年生がリーダーシップをとりつつ、前向きに楽しく企画・運営等を行っていることが表れています。他校ではできない学校での楽しさを、自ら創り出す様子が、見ていてとても素敵だと思います。
- ② 『自分からあいさつ』については、先日行われた学校運営協議会（以下 CS）でも話題となりました。授業の開始・終了といった決められたあいさつや大人に声をかけられてのあいさつは十分できているものの、状況に応じて、自分で考えてあいさつをすることがあまりできていない＝どうしたらよいか分からない様子があるといったことを確認できました。これは、**学校だけでなくご家庭や地域のみなさんと一緒に取り組む必要があります**。学校だよりで掲載していますが、右記の『あいさつの4ヶ条』を例に、大人が実践を見せ、教えていきましょう。やはり「あいさつは人として生きるための基本」ですから。
- 『あいさつの4ヶ条』一人からでもやってみよう!!**

「あ」＝明るく、温かく 【とげとげしくなく】  
 「い」＝いつでも、誰にでも【人を選ぶのはいけません】  
 「さ」＝先に、すすんで 【立場とか関係ないよ】  
 「つ」＝続けて、次の言葉を【止めないで 言葉が続くとおいしい】
- ③ 『体力の向上』については、今年度より「のびのび運動（2校時終了後の休み時間の運動活動）」やマラソン記録会への練習に全校児童生徒で取り組む等、活動を改善している最中です。お家ではどうですか!?お子さんは、みなさんが小・中学生の時よりも、体力が衰えているなあと感じていますか!?

## (2) 授業・学習指導 【結果】

評価観点			1～6年		7～9年		保護者		教職員		CS委員・自治会長	
	No	項目	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回
授業・学習指導	7	楽しく充実した授業内容	3.3↓	3.8	3.5	3.5	3.4	3.4	3.5	3.7		
	8	課題や目標の設定	3.6	3.5	3.4	3.1						
	9	話し合い活動	3.7	3.6	3.5	3.5			3.3	3.5		
	10	まとめ・振り返り	3.6	3.6	3.1	3.3						
	11	タブレットの活用	3.9	3.8	4.0	3.6	3.6	3.3	3.2	3.5		
	12	豊かな心の教育							3.3	3.6		
	13	学習リーダーの育成	3.6	3.4					3.2	2.9		
	14	家庭学習の充実	3.6	3.8	3.4	3.5	3.0↓	3.3	3.5↑	3.1		
	15	地域の教育力の活用							3.0↓	3.3	3.5	3.4
	16	授業の工夫・学習支援					3.0↓	3.5	3.2↓	3.6		

## 【考察】

- ① 『タブレット (iPad) の活用』については、大きな改善が見られます。実際に、1～9年生および保護者の数値、そして、多くのお客様の感想等からも、「iPad を使った授業が進んでいますね」という声を多く頂きます。先生方の授業のアップデートが進んだ結果、子どもたちが iPad を使って物事を調べたり、個人の考えを示したり、意見を集約したりする場面が多くなりました。また、授業に参加する子どもたちの表情がとって明るく、豊かになったことも大きな効果です。iPad を授業の一つの道具として活用した、より質の高い状況を目指していきます。
- ② 『楽しく充実した授業内容』『まとめ・振り返り』『授業の工夫』については、「楽しい！」からはじまる教育の創造」という本校の校内研修（職員で一年をかけて授業の工夫・改善する取組）の趣旨からも、更なる改善が必要であると受け取ります。子どもたちの発達段階に応じつつ、「主体的に学べるから楽しい」・「わかる・できるから楽しい」をより追求していきます。ICT 機器の効果的な活用や、単元や1つの授業での“子どもたちが学びたいくなる課題の設定”等、少しずつ、着実に改善を図っていきます。
- ③ 『家庭学習の充実』については、児童生徒・教職員と保護者のみなさんとの間で認識が違うことが明らかになりました。保護者のみなさんとしては、「もっと、家でも勉強してほしい！」という思いからの数値なのかもしれません。ここで、いわゆる宿題と家庭学習の違いを明らかにしておきます。

- 宿題 = 先生から出された内容に取り組む学習
- 家庭学習 = 自分で学習する内容を選んで取り組む学習

個人差があることは前提ですが、子どもたちが自己を見つめ、今、必要と思う活動を自分で考えて行う、いわゆる「主体性」を高めていきたいと私たちは考えており、家庭学習はその一つであります。年齢が高くなるにつれ、宿題は減っていきます。改めて、子どもたちが主体的に学習に取り組むことができるよう、発達段階や個々を考慮しつつ、指導をしていきます。保護者のみなさまも、子どもたちの様子を見て、声をかけたり見守ったりしていただければと思います。

- ④ 『学習支援』については、上記②・③に関連しますが、授業進度を考慮しつつも、一学年あたりの人数が10人以下であるという本校の特徴を十二分に生かし、個別に最適な学習状況を作っていかなければなりません。方法は様々です。今後も模索し、実践していきます。
- ⑤ 『地域の教育力の活用』については、学校だより9月号に掲載した「これっ子池学習会（5・6年）」や「たまねぎ選果場等見学（3・4年）」等、地域のみなさまのご協力を得て、実践を重ねています。学校だより等を活用し、随時、お知らせしていきます。

## (3) その他【結果】

評価観点		1～6年		7～9年		保護者		教職員		CS委員・自治会長	
No	項目	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回
その他	17 情報発信(教育方針)					3.5	3.4				
	18 情報発信(学級通信など)					3.6	3.6	3.4	3.7	3.7	3.5
	19 環境整備									3.6	3.8
	20 予算の適切な執行							3.2	3.5		

## 【考察】

- 『情報発信』について、高い評価を頂いております。ありがとうございます。本校はこの地区に唯一ある学校であります。保護者や地域のみなさまとともに歩むことは宿命です。今後も様々な機会を通して、本校の教育方針や行われていることを積極的に発信できればと思います。

## (4) 児童生徒・保護者のみなさまの記述から

前期学校評価では、記述が4つありました。

### ①『情報発信』に対して

「週に何度も通信を発行していただき子どもの様子を詳しく知ることが出来とても安心できます。」

→学校長回答

「ありがとうございます。先生方の頑張りを受け止めていただき、とても嬉しいです。」

### ②『あいさつ』に対して

「とにかく大切なのは挨拶だし、挨拶ができるとお互いが気持ちよくなります。」

「挨拶は社会人になっても重要な事だと思うので小さい時からそれを伝えてくれるのは有難い。」

→学校長回答

「私も、挨拶や礼儀の大切さをとても実感する一人です。芭露学園の前身である湖陵中学校は「げ＝元気なあいさつ」を推進していた学校です。その良き魂を伝えていければと思います。」

### ③『タブレット端末の活用』に対して

「ミラーリングのやり方教えて貰って出来るんだよ！と子どもの出来るを増やして頂き自信に繋がっている」

→学校長回答

「私たちも、できないことができるようになる喜びを感じています。子どもたちとともに私たちも成長できればと思います。」

### ④『タブレット端末の活用』に対して

「充電器を持ち帰る事は駄目だと聞きましたが、自宅で使用していると充電が持ちません。自宅にあるもので代用していますが自宅では家族皆が使用するので限界があるかな？！と思う時があります。（我が家だけかもしれませんが…）どうにか出来ないのかな？と思います。」

→学校長回答

「既に回答済みですが、使用頻度等を考慮し、7～9年生については充電器の持ち帰りを認めることにしました。」

以上が、本校の前期学校評価の結果と考察と今後に向けて学校としての考えです。私としては、学校評価の結果等を今後活かすことはもちろんですが、この取組を通して、ご家庭や地域の話題の一つになればと考えています。例えば、保護者のみなさまが、この活動をきっかけに、普段、見ることのあまりない学校内の授業や生活の様子について、お子さんに質問したりお話をしたりすることで対話が生まれ、それをきっかけに本校の教育活動により高い興味・関心を持って頂く、という感じです。それらの積み重ねにより、学校・家庭・地域が互いを分かり合い、高め合うことができればと考えています。たくさんやり取りでより活動が充実する義務教育学校＝芭露学園であり続けられればと思います。今後よろしくお願いいたします。

〔湧別町立芭露学園 校長 川上 智広〕